9月28日（月）　A会場

8:30～10:50　会長企画シンポジウム
今日の精神医学の検証 –バイオマーカーを持たない精神医学の望ましい航路とは–

司会：**矢部 博興**　福島県立医科大学医学部神経精神医学講座
宮岡 等　北里大学北里研究所病院

PS1-1　**バイオマーカーを持たない精神医学が許される針路とは？**
○矢部 博興
福島県立医科大学医学部神経精神医学講座

PS1-2　**精神疾患克服を目指して～これまでとこれから**
○加藤 忠史[1,2]
[1]理化学研究所脳神経科学研究センター精神疾患動態研究チーム、[2]順天堂大学医学部精神医学教室

PS1-3　**純粋精神医学（伝統的精神医学への回帰）**
○古茶 大樹
聖マリアンナ医科大学神経精神科

PS1-4　**精神医療の守備範囲**
○宮岡 等
北里大学医学部精神科

〈コーディネーター〉　矢部 博興　福島県立医科大学医学部神経精神医学講座
宮岡 等　北里大学北里研究所病院

11:00～12:00　教育講演 2

司会：**後藤 雅博**　医療法人崇徳会こころのクリニックウィズ

EL2　**エビデンスに基づく実践（EBP）とパーソナルリカバリーの時代**
○池淵 恵美
帝京平成大学大学院臨床心理学研究科

12:10～13:10　特別講演 2
同時通訳(E↔J)

司会：**笠井 清登**　東京大学大学院医学系研究科精神医学

SL2　**MMN as a promising translational neurophysiological biomarker in schizophrenia**
○Patricia T. Michie[1,2]、Lauren Harms[3]、Jaishree Jalewa[2]、Ariel Dunn[2]、Juanita Todd[2]、Deborah Hodgson[2]
[1]Emeritus Professor, Psychology, University of Newcastle、[2]School of Psychology, University of Newcastle, Callaghan. NSW 2308 Australia、[3]School of Biomedical Sciences and Pharmacy, University of Newcastle, Callaghan. NSW 2308 Australia

13:30〜14:30　会長講演

司会：**神庭 重信**　九州大学

PL1　**今日の精神医学の検証 −10 年後への道標として−**

○矢部 博興
福島県立医科大学医学部神経精神医学講座

14:40〜15:40　特別講演 3

司会：**山内 俊雄**　埼玉医科大学

SL3　**統合失調症モデル動物研究とその展望；幻聴の再現可能性**

○那波 宏之
新潟大学脳研究所

15:50〜17:50　委員会シンポジウム 7（多職種協働委員会）
地域包括ケアシステムと多職種連携：それを阻むものとその対応

司会：**森川 将行**　三重県立こころの医療センター診療部
西村 勝治　東京女子医科大学病院

CS7-1　**地域包括ケアシステムと多職種連携〜ささがわプロジェクト及び安積地域包括支援センターにおける実践から〜**

○安西 里実[1]、佐久間 啓[2]
[1]安積地域包括支援センター、[2]あさかホスピタル

CS7-2　**私の望む生活・暮らしを実現する作業療法の機能と役割**

○村井 千賀
石川県立高松病院

CS7-3　**地域から求められる地域包括ケアの可能性〜大規模災害後の心のケアの経験から〜**

○米倉 一磨
NPO法人相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会相馬広域こころのケアセンターなごみ

CS7-4　**在宅医療における多職種連携**

○内田 直樹
たろうクリニック

CS7-5　**地域包括ケアシステムと多職種連携を実現する為に**

○窪田 彰
医療法人社団草思会錦糸町クボタクリニック

〈コーディネーター〉　森川 将行　三重県立こころの医療センター診療部
西村 勝治　東京女子医科大学病院

9月28日（月）　B会場

8:30〜9:30　特別講演 1

同時通訳（E↔J）

司会：**大谷 浩一**　山形大学医学部精神医学講座

SL1

The Treatment of Early Phase Schizophrenia

○John M. Kane
Professor and Chairman, Psychiatry, The Donald and Barbara Zucker School of Medicine

9:40〜10:40　教育講演 1

司会：**井上 幸紀**　大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学

EL1

摂食障害への初期対応：心身両面から

○中里 道子
国際医療福祉大学医学部精神医学

10:50〜11:50　教育講演 3

司会：**近藤 毅**　琉球大学大学院精神病態医学講座

EL3

統合失調症薬物治療の現状と課題

○下田 和孝
獨協医科大学精神神経医学講座

12:00〜13:00　教育講演 4

司会：**池淵 恵美**　帝京平成大学大学院臨床心理学研究科

EL4

成人期発達障害の就労と社会復帰

○岩波 明
昭和大学医学部精神医学講座

13:30〜14:30　教育講演 5

司会：**三原 伊保子**　三原デイケア＋クリニックりぼん・りぼん

EL5　**ドメスティック・バイオレンスと子ども虐待の現状と対応**

○加茂 登志子
若松町こころとひふのクリニックメンタルケア科PCIT研修センター

14:40〜15:40　教育講演 6

司会：**細田 眞司**　こころの診療所細田クリニック

EL6　**精神病理学の基本問題**

○内海 健
東京藝術大学保健管理センター

15:50〜17:50　委員会シンポジウム 8（倫理委員会）

日本精神神経学会倫理教育研修会対象セッション

同意取得が困難な事例を対象とした症例報告や研究における問題点と課題

司会：**久住 一郎**　北海道大学大学院医学研究院精神医学教室
尾崎 紀夫　名古屋大学大学院医学系研究科精神医学・親と子どもの心療学分野

CS8-1　**司法精神医学に携わる立場から**

○村松 太郎
慶應義塾大学医学部精神神経科

CS8-2　**児童虐待事件に関係し受刑中の養育者への質問紙調査：同意取得に関して留意した点**

○黒田 公美
理化学研究所脳神経科学研究センター親和性社会行動研究チーム

CS8-3　**当事者・家族と進めるゲノム医療へ ゲノム解析・遺伝カウンセリングに携わる臨床遺伝専門医の立場から**

○石塚 佳奈子
名古屋大学医学部附属病院親と子どもの心療科

CS8-4　**〔指定発言〕**

○木ノ元 直樹
木ノ元法律事務所

CS8-5　**〔指定発言〕**

○夏苅 郁子
やきつべの径診療所

〈コーディネーター〉　久住 一郎　北海道大学大学院医学研究院精神医学教室

※参加された方のうち希望者に「倫理教育研修会修了証」を発行いたします。

9月28日（月）　C会場

10:40〜12:40　シンポジウム３
総合病院における認知症対応

司会：**小川 朝生**　国立がん研究センター東病院先端医療開発センター精神腫瘍学開発分野

S3-1　急性期病院における認知症診療の課題 −実態調査から見えてきたこと−
○谷向 仁[1]、小川 朝生[2]
[1]京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻、同附属病院附属病院緩和ケアセンター/緩和医療科、
[2]国立研究開発法人国立がん研究センター東病院

S3-2　一般急性期病院における認知症教育プログラムの内容と効果検証について
○井上 真一郎
岡山大学病院精神科神経科

S3-3　認知症ケアによる教育活動の実践および今後の課題
○木野 美和子
筑波メディカルセンター

S3-4　総合病院における認知症ケアの現状と課題〜認知症ケアチームの活動からみえたこと〜
○東谷 敬介
市立札幌病院

〈コーディネーター〉　小川 朝生　国立がん研究センター東病院先端医療開発センター精神腫瘍学開発分野

13:30〜15:30　委員会シンポジウム４（認知症委員会）
重症認知症の人にどのような終末期対応を提供するのか −「認知症診療医」認定更新のために−

司会：**渕野 勝弘**　医療法人社団淵野会
布村 明彦　東京慈恵会医科大学精神医学講座

CS4-1　認知症の人の医療選択に関する意思決定支援
○成本 迅
京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学

CS4-2　コミュニケーション能力への対応 −言語機能の低下と意思疎通の工夫−
○吉村 貴子
京都先端科学大学

CS4-3　認知症高齢者の移動歩行能力への対応 −転倒予防と身体拘束低減
○鈴木 みずえ
浜松医科大学

CS4-4　経口摂取が困難となった場合の対応 −人工的水分・栄養補給法のあり方
○会田 薫子
東京大学大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センター上廣講座

〈コーディネーター〉　武田 雅俊　学校法人河﨑学園大阪河﨑リハビリテーション大学

15:50〜17:50 **委員会シンポジウム 9**
COVID-19（新型コロナウイルス感染症）がもたらす精神医療保健福祉への影響を考える

司会：**金 吉晴**　国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
重村 淳　目白大学保健医療学部

CS9-1 **CBRNE 災害としての COVID-19**
○重村 淳[1]、黒澤 美枝[2]
[1]目白大学保健医療学部、[2]武蔵野大学人間科学部

CS9-2 **COVID-19 の地域精神保健福祉領域に対する影響とその対策**
○藤城 聡
愛知県精神保健福祉センター

CS9-3 **COVID-19 に伴う精神医療の現場で起きている課題と支援者支援**
○高橋 晶[1,2]
[1]筑波大学医学医療系災害・地域精神医学、[2]茨城県立こころの医療センター

CS9-4 **COVID-19（新型コロナウイルス感染症）が子どものメンタルヘルスにもたらす影響：多領域からの支援について**
○高橋 秀俊
高知大学医学部児童青年期精神医学（寄附講座）

CS9-5 **〔指定発言〕**
○金 吉晴
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

〈コーディネーター〉 重村 淳　目白大学保健医療学部

9月28日（月）　D会場

10:40～12:40　委員会シンポジウム３（心理職に関する委員会）
さまざまな領域における公認心理師の現状と今後の展望

司会：**三野 進**　みのクリニック
定松 美幸　金城学院大学人間科学部

CS3-1　**全体の動向と保健医療領域における公認心理師の実態について**
○今村 扶美
国立精神・神経医療研究センター病院臨床心理室

CS3-2　**公認心理師への期待 –司法精神医学の立場から**
○五十嵐 禎人
千葉大学社会精神保健教育研究センター法システム研究部門

CS3-3　**学校教育における公認心理師の役割～チーム学校時代の心理専門職として～**
○窪田 由紀
九州産業大学

CS3-4　**産業保健の立場から**
○五十嵐 良雄
メディカルケア虎ノ門精神科

CS3-5　**福祉分野における公認心理師の現状と今後の展望**
○木太 直人
公益社団法人日本精神保健福祉士協会

〈コーディネーター〉　松田 ひろし　医療法人立川メディカルセンター柏崎厚生病院
佐藤 忠彦　桜ヶ丘記念病院

13:30～15:30　シンポジウム 14
難治性トゥレット症に対する脳深部刺激療法のエビデンスと今後の課題

司会：**金生 由紀子**　東京大学大学院医学系研究科こころの発達医学分野
岡田 俊　国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的・発達障害研究部

S14-1　**難治性トゥレット症をいかに定義し、いかに対処するか**
○岡田 俊
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的・発達障害研究部

S14-2　**トゥレット症候群の重度難治性チックに対する脳深部刺激療法**
○開道 貴信[1,2]
[1]大阪樟蔭女子大学健康栄養学部健康栄養学科解剖生理学研究室、[2]国立病院機構奈良医療センター脳神経外科

S14-3　**トゥレット症候群に伴う重度チックに対する脳深部刺激療法の長期的効果と予後**
○木村 唯子[1]、金生 由紀子[5]、開道 貴信[3,4]、大森 まゆ[2]、岩崎 真樹[1]
[1]国立精神神経医療研究センター病院脳神経外科、[2]国立精神神経医療研究センター病院精神科、
[3]国立病院機構奈良医療センター脳神経外科、[4]大阪松蔭女子大学健康栄養学部、[5]東京大学こころの発達診療部

S14-4　**脳深部刺激治療を受けた難治性トゥレット症患者の実態と今後の課題**
○金生 由紀子[1]、開道 貴信[2,3]、岩崎 真樹[4]、木村 唯子[4]、岡田 俊[5]、梶田 泰一[6]
[1]東京大学大学院医学系研究科こころの発達医学分野、[2]大阪樟蔭女子大学健康栄養学部、
[3]国立病院機構奈良医療センター脳神経外科、[4]国立精神神経医療開発センター病院脳神経外科、
[5]国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的・発達障害研究部、
[6]国立病院機構名古屋医療センター脳神経外科

S14-5 〔指定発言〕

○飯田 仁志
福岡大学病院精神神経科

〈コーディネーター〉 金生 由紀子 東京大学大学院医学系研究科こころの発達医学分野
岡田 俊 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的・発達障害研究部

9月28日（月）　E会場

8:30～10:10　ワークショップ１（精神療法委員会）
映像で学ぶ初診面接 –社交不安症編–

司会：**福田 正人**　群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学講座
池田 暁史　文教大学人間科学部臨床心理学科

WS1　〈講演者〉
中村 敬　東京慈恵会医科大学附属第三病院精神神経科
藤山 直樹　個人開業
原田 誠一　原田メンタルクリニック
菊地 俊暁　慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

〈コーディネーター〉池田 暁史　文教大学人間科学部臨床心理学科

11:00～13:00　シンポジウム４
心のケアセンターの現状と展望

司会：**大川 貴子**　福島県立医科大学精神看護学講座
大塚 耕太郎　岩手医科大学神経精神科学講座

S4-1　**心のケアセンターの現状と展望**
○渡部 育子
一般社団法人福島県精神保健福祉協会ふくしま心のケアセンター

S4-2　**大規模災害における心のケアの中長期支援と課題～福島県相双地区の９年間の活動から～**
○米倉 一磨
NPO法人相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会相馬広域こころのケアセンターなごみ

S4-3　**みやぎ心のケアセンターの現状と課題**
○福地 成
みやぎ心のケアセンター

S4-4　**岩手県被災地におけるこころのケアとメンタルヘルス対策について**
○赤平 美津子[1,2]、大塚 耕太郎[1,2,3]、小泉 範高[1,2,3]、酒井 明夫[2]
[1]岩手医科大学医学部災害・地域精神医学講座、[2]岩手県こころのケアセンター、[3]岩手医科大学神経精神科学講座

〈コーディネーター〉矢部 博興　福島県立医科大学医学部神経精神医学講座

13:30～15:30　委員会シンポジウム５（精神保健に関する委員会）
発達障害と精神保健

司会：**吉益 光一**　神戸女学院大学人間科学部心理・行動科学科
立花 良之　国立研究開発法人国立成育医療研究センター

CS5-1　**成人期の ADHD と物質関連障害の関連性に関する系統レビューとメタ分析**
○吉益 光一
神戸女学院大学人間科学部心理・行動科学科

CS5-2　**発達障害と周産期・乳幼児精神保健**
○立花 良之
国立成育医療研究センターこころの診療部乳幼児メンタルヘルス診療科

CS5-3 **地域における「発達障害」の診断と当事者と家族支援のための環境整備**

○北野 尚美
和歌山県立医科大学医学部

CS5-4 **発達障害に対する行政的支援**

○二宮 貴至
浜松市精神保健福祉センター

〈コーディネーター〉 吉益 光一 神戸女学院大学人間科学部心理・行動科学科

15:50〜17:50 委員会シンポジウム 10（国際委員会）
外国人労働者/難民のメンタルヘルス

司会：**勝田 吉彰** 関西福祉大学社会福祉学部
秋山 剛 NTT東日本関東病院

CS10-1 **外国人労働者/難民のメンタルヘルス**

○勝田 吉彰
関西福祉大学社会福祉学部

CS10-2 **日本に暮らす難民のメンタルヘルス支援**

○桂川 修一[1]、鵜川 晃[2]
[1]東邦大学医療センター佐倉病院メンタルヘルスクリニック、[2]大正大学人間学部人間環境科

CS10-3 **精神医療機関における外国人患者受入の現状と課題**

○山室 和彦
奈良県立医科大学精神医学講座

CS10-4 **THE MENTAL HEALTH OF CULTURALLY AND LINGUISTICALLY DIVERSE PEOPLE IN AUSTRALIA AND NEW ZEALAND**

○John Allan
President, Royal Australian and New Zealand College of Psychiatrists

〈コーディネーター〉 勝田 吉彰 関西福祉大学社会福祉学部

9月28日（月）　F会場

8:30～10:30　**シンポジウム 1**
児童虐待とエピジェネティクス

司会：**山下 浩**　さいたま市子ども家庭総合センターさいたま市児童相談所
三宅 和佳子　大阪母子医療センター子どものこころの診療科

S1-1　**児童虐待の現状 –虐待される子ども、虐待してしまう親・養育者–**
○山下 浩
さいたま市子ども家庭総合センターさいたま市児童相談所

S1-2　**被虐待児とエピジェネティクス –トラウマの世代間伝達とエピジェネティクスとの関係–**
○今村 明[1]、○森本 芳郎[2]
[1]長崎大学病院地域連携児童思春期精神医学診療部、[2]長崎大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経学

S1-3　**被虐待児の OXTR 遺伝子 DNA メチル化の脳画像エピゲノム解析**
○西谷 正太、友田 明美
福井大学子どものこころの発達研究センター

S1-4　**〔指定発言〕**
○岡田 俊
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的・発達障害研究部

〈コーディネーター〉　山下 浩　さいたま市子ども家庭総合センターさいたま市児童相談所

10:40～12:40　**Fellowship Award Symposium 1**
Mental health and work life balance of psychiatrists

Chairperson：**Moriou Aki**　Toyooka Public Hospital, Japan

FAS1-1　**Stressful work environment for psychiatrists in Kenya**
○Florence Jaguga
MOI Teaching & Referral Hospital, Kenya

FAS1-2　**Potential for Optimal Work- Life Balance of Psychiatrists in Belarus**
○Olga Kazakova
Head of inpatient psychiatric department, Psychiatric Clinic of Minsk City, Belarus

FAS1-3　**Mental health and Well-being of the Psychiatry Workforce in UK**
○Shevonne Matheiken
East London NHS Foundation Trust, UK

FAS1-4　**Mental health and work life balance of Psychiatrists/Mental Health Providers in Japan**
○Yuka Ueda
Fukushima Medical University School of Medicine, Department of NeuroPsychiatryl, Japan

〈Coordinator〉　Toshitaka Ii：Aichi Medical University, Japan

13:30〜15:30 Fellowship Award Symposium 2
Case Vignette（Obsessive Compulsive Disorder）

Chairperson：**Kazuhiko Yamamuro** Department of Psychiatry, Nara Medical University, Japan

FAS2-1 **Innovative management of obsessive-compulsive disorder in Hungary**
○Dorottya Ori
Vadaskert Child and Adolescent Psychiatry Hospital, Hungary

FAS2-2 **Early-Onset Obsessive-Compulsive Symptoms：Adequacy VS Barriers to Care in Thailand**
○Awirut Oon-arom
Department of Psychiatry, Faculty of Medicine, Chiang Mai University, Thailand

FAS2-3 **Assessment, diagnosis and management of obsessive-compulsive disorder in Singapore**
○Su Hui Ho
National University Health System, Singapore

FAS2-4 **Approaches to Obsessive-Compulsive Disorder in JAPAN**
○Anri Watanabe
Department of Psychiatry, Graduate School of Medical Science, Kyoto Prefectural University of Medicine, Japan

〈Coordinator〉 Toshitaka Ii：Aichi Medical University, Japan

15:50〜17:50 委員会シンポジウム 11（精神科医・精神科医療の実態把握・将来計画に関する委員会）
精神科医療におけるタスク・シフティングに関する諸問題

司会：**稲垣 中** 青山学院大学教育人間科学部/保健管理センター
米田 博 大阪医科大学附属病院

CS11-1 **医師働き方改革におけるタスク・シフティングの動向**
○米田 博
大阪医科大学医学部神経精神医学教室

CS11-2 **精神科病院・精神保健福祉センターの視点から見たタスク・シフティング**
○辻本 哲士
滋賀県立精神保健福祉センター

CS11-3 **総合病院におけるタスク・シフティングとタスク・シェアリングとは**
○根本 康
さいたま市立病院精神科

CS11-4 **看護師特定行為研修制度の概要と精神科医療のタスクシフトの可能性**
○萱間 真美
聖路加国際大学大学院看護学研究科精神看護学研究室

CS11-5 **医師から心理師へのタスクシフト・タスクシェア**
○壁屋 康洋[1,2]、前上里 泰史[2,3]
[1]国立病院機構榊原病院、[2]国立病院機構全国心理療法士協議会、[3]独立行政法人国立病院機構琉球病院

〈コーディネーター〉 稲垣 中 青山学院大学教育人間科学部/保健管理センター
米田 博 大阪医科大学附属病院

9月28日（月）　G会場

13:30～15:10　**ワークショップ 6**（小児精神医療委員会）
小児精神医療入門：新シリーズ(3)子どもが示す症状の多様性：その意味と疾患との関連について

司会：**松本 英夫**　東海大学医学部専門診療学系精神科学
高橋 秀俊　高知大学医学部寄附講座児童青年期精神医学

WS6　〈講演者〉
今村 明　長崎大学病院地域連携児童思春期精神医学診療部
鈴村 俊介　東京都立大塚病院児童精神科
本多 奈美　東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野
館農 勝　ときわ病院・ときわこども発達センター

〈コーディネーター〉松本 英夫　東海大学医学部専門診療学系精神科学

15:50～17:50　**シンポジウム 23**
メンタライゼーション、新しくも普遍的な精神療法 –その治療理論と臨床実践–

司会：**白波瀬 丈一郎**　慶應義塾大学精神・神経科学教室
渡部 京太　広島市こども療育センター

S23-1　**メンタライゼーションという概念**
○白波瀬 丈一郎
慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

S23-2　**メンタライゼーションに基づく治療 –治療理論とエヴィデンス–**
○池田 暁史
文教大学人間科学部臨床心理学科

S23-3　**精神科診療におけるメンタライゼーションの実践と活用**
○崔 炯仁
稲門会いわくら病院精神科

S23-4　**児童福祉領域におけるメンタライゼーションの活用**
○若松 亜希子
法政大学大学院人間社会研究科

S23-5　**〔指定発言〕**
○渡部 京太
広島市こども療育センター

〈コーディネーター〉池田 暁史　文教大学人間科学部臨床心理学科
崔 炯仁　稲門会いわくら病院精神科
白波瀬 丈一郎　慶應義塾大学精神・神経科学教室

9月28日（月） H会場

8:30〜9:30 一般演題（口演）1
統合失調症 1

司会：**兼子 幸一** 鳥取大学医学部脳神経医学講座精神行動医学分野

1-01-1 **統合失調症における認知機能障害の特徴**

○渡部 和成
医療法人崇徳会田宮病院精神科

1-01-2 **認知機能リハビリテーションがもたらす統合失調症患者の小脳の白質微細構造変化**

○松岡 究[1,2]、盛本 翼[2]、松田 康裕[2]、安野 史彦[3]、田岡 俊昭[4]、宮坂 俊輝[5]、吉川 裕晶[2]、高橋 誠人[2]、北村 聡一郎[1,2]、吉川 公彦[5]、岸本 年史[2]
[1]放射線医学総合研究所脳機能イメージング研究部、[2]奈良県立医科大学精神医学講座、
[3]国立研究開発法人国立長寿医療研究センター精神科、[4]名古屋大学革新的生体可視化技術開発産学協同研究講座、
[5]奈良県立医科大学放射線医学教室

1-01-3 **＜演題取り下げ＞**

1-01-4 **統合失調症のメタ認知トレーニング：参加者の満足度調査**

○石垣 琢磨[1]、石川 亮太郎[2]、島田 岳[3]、田上 博喜[4]、吉永 尚紀[5]、織部 直弥[6]、森元 隆文[7]、松本 武士[8]、細野 正人[1]
[1]東京大学大学院総合文化研究科、[2]大正大学、[3]メンタルサポートそよかぜ病院、[4]宮崎大学医学部看護学科、
[5]宮崎大学テニュアトラック推進機構看護学系、[6]独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター、
[7]札幌医科大学保健医療学部作業療法学科、[8]医療法人社団大和会大内病院

1-01-5 **当院における初発統合失調症入院例の特徴と治療アウトカム**

○森脇 久視、茨木 丈博、福井 英里、山本 舞、面川 育、板橋 登子
神奈川県立精神医療センター精神科

9:40〜10:40 一般演題（口演）3
統合失調症 2

司会：**岸本 年史** 奈良県立医科大学付属病院

1-03-1 **＜演題取り下げ＞**

1-03-2 **＜演題取り下げ＞**

1-03-3 **クロザピン誘発性好中球減少症に対し、N アセチルグルコサミンの有効性が示唆された一例**

○白川 美千雄、村岡 寛之、稲田 健、押淵 英弘、末木 亮嗣、佐藤 萌子、松井 聡子、長澤 友梨香、石橋 美貴子、堀江 容子、西村 勝治
東京女子医科大学病院神経精神科

1-03-4 **クロザピンを導入し、ジストニアおよび精神症状の顕著な改善を認めた 1 例**

○近藤 怜苑、木村 宏之、瀬名波 徹、尾崎 紀夫
名古屋大学医学部付属病院精神科

10:50～11:50 一般演題（口演）5
神経症性障害 1

司会：**渡辺 義文**　総合南東北病院 精神神経センター

1-05-1 **松沢病院の強迫症患者約 80 名の臨床的特徴 特に精神科併存症に関する考察**

○岡村 泰[1]、杉本 達哉[2]、頃安 英毅[3]、佐々木 亮[3]、村端 祐樹[3]、川瀬 愛[3]、梅田 夕奈[3]、根路銘 要太[4]、福田 陽明[3]、松本 光輔[3]、針間 博彦[3]、齋藤 正彦[3]、平安 良雄[5]
[1]東京都立松沢病院横浜市立大学医学部精神医学教室、[2]静岡県立静岡がんセンター、[3]東京都立松沢病院、[4]東京都立小児総合医療センター、[5]医療法人へいあん平安病院

1-05-2 **強迫症患者における入院加療後の服薬アドヒアランスに関わる臨床的要因の検討**

○徳谷 晃[1]、向井 馨一郎[2]、中村 豪志[1]、木村 健[1]、松永 寿人[2]
[1]兵庫医科大学病院薬剤部、[2]兵庫医科大学精神科神経科学講座

1-05-3 **森田療法と抗うつ薬の戦略的組み合わせによる強迫症治療：「不安を取り除かず、不安を持ちこたえる」**

○新村 秀人[1]、北西 憲二[2]
[1]慶應義塾大学医学部精神神経科学教室、[2]北西クリニック、森田療法研究所

1-05-4 **小児期虐待が成人期不安症状に及ぼす影響：対人関係敏感性 及び ライフイベントの否定的評価による媒介作用**

○中澤 広[1]、井上 猛[2]
[1]東京医科大学大学院精神医学分野、[2]東京医科大学精神医学分野

1-05-5 **＜演題取り下げ＞**

12:00～13:00 一般演題（口演）7
研修生・医学部生演題 1

司会：**田子 久夫**　公益財団法人磐城済世会舞子浜病院

1-07-1 **初老期の精神病性うつ病の背景にレビー小体病の存在が疑われた一例**

○森 大晃[1,2]、細川 里瑛[2]、清水 秀明[2]、髙山 由華子[2]、舟橋 裕[2]、久門 啓志[2]、尾崎 優樹[2]、河邉 憲太郎[2]、山内 宏治[3]、上野 修一[2]
[1]愛媛大学医学部附属病院総合臨床研修センター、[2]愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座、[3]正光会宇和島病院

1-07-2 **修正型電気けいれん療法が安全に施行できたペースメーカーが挿入されている双極性障害うつ病相患者の一例**

○山澤 真穂、村岡 寛之、佐藤 萌子、白川 美千雄、押淵 英弘、河野 敬明、堀江 容子、稲田 健、西村 勝治
東京女子医科大学病院

1-07-3 **脳室周囲白質軟化症による治療抵抗性精神病性障害の一例**

○瀬下 翔也[1]、三宅 誕実[2]、櫛野 宣久[2]、古茶 大樹[2]
[1]聖マリアンナ医科大学病院、[2]聖マリアンナ医科大学神経精神科

1-07-4 **抗 NMDA 抗体受容体抗体脳炎を発症した 60 代男性の一例～抗 VGKC 複合体抗体脳炎との比較～**

○古江 ナオミ[1]、中村 雅之[2]、浦田 結嘉[2]、﨑元 仁志[2]、肝付 洋[2]、石塚 貴周[2]
[1]鹿児島大学病院総合臨床研修センター、[2]鹿児島大学大学院医歯学総合研究科精神機能病学分野

1-07-5 **急性期脳梗塞後に発症した Poststroke psychosis に抗精神病薬が速やかに奏功した一例**

○小泉 友紀暁[1]、武藤 仁志[1]、藤木 修子[2]、田村 赳紘[1]、治徳 大介[1]、竹内 崇[1]、杉原 玄一[1]、高橋 英彦[1]
[1]東京医科歯科大学医学部附属病院精神科、[2]東京医科歯科大学医学部附属病院脳神経内科

13:30〜14:30 一般演題（口演）9
摂食障害等

司会：**須田 史朗** 自治医科大学精神医学講座

1-09-1 **難治性の口腔内セネストパチーとチック障害に対してホログラフィートークが著効した一例**

○加藤 嘉明[1]、上野 繭美[2,3]、佐川 悠毅[1]、清水 優[1]、福田 春樹[1]、髙橋 宏彰[1]、安藤 泰善[1]、大西 征司[1]、小倉 盛崇[1]、長谷川 聖[1]、西崎 純[1]、日比野 浩之[1]、北川 年一[1]、高屋 淳彦[1]、嶺 輝子[4]
[1]福井記念病院精神科、[2]福井記念病院歯科、[3]鶴見大学歯学部口腔内科学講座、[4]アースシー・ヒーリング・セラピー

1-09-2 **神経性食思不振症の急性期治療に PICC による中心静脈栄養を導入した 2 症例**

○木村 聡、浅野 太志、後藤 將之、後藤 大介、落合 晴香、森 湧平、泉 竜太、赤間 孝洋、板垣 俊太郎、三浦 至、矢部 博興
福島県立医科大学医学部神経精神医学講座

1-09-3 **看護師の食事サポートと弁証法的行動療法を軸とした入院プログラムは摂食障害における反すう反応を減弱する**

○米良 貴嗣
八幡厚生病院精神科・心療内科

1-09-4 **家族介入により神経性やせ症の病理の改善が示唆された一例：アドラー心理学からの考察**

○坂田 晴耶[1]、白石 直[1]、川瀬 理絵子[2]、浅沼 恵美[3]、石川 貴康[4]、伊藤 夕貴[2]、明智 龍男[1]
[1]名古屋市立大学大学院医学研究科精神・認知・行動医学分野、[2]名古屋市立大学病院診療技術部、
[3]名古屋市立大学病院薬剤部、[4]名古屋市立大学病院医学・病院管理部

1-09-5 **拘束を行わず常時観察下の経管栄養を行うことで治療の転帰となった、摂食障害の 15 歳女性の治療**

○堀川 直希
医療法人コミュノテ風と虹のぞえの丘病院精神科

14:40〜15:40 一般演題（口演）11
依存・行動嗜癖 1

司会：**松下 幸生** 独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター

1-011-1 **＜演題取り下げ＞**

1-011-2 **自傷行為としての瀉血を繰り返す、重症な摂食障害を合併した多剤物質使用障害の一例**

○西村 康平、板橋 登子、吉川 るみ子、楠山 さなみ、黒澤 文貴、小林 桜児
神奈川県立精神医療センター

1-011-3 **ナルメフェンによる減酒治療から断酒に至ったアルコール依存症の 1 例**

○橋本 望
地方独立行政法人岡山県精神科医療センター

1-011-4 **精神科医療に対するハームリダクション的な考え方の導入**
○成瀬 暢也
埼玉県立精神医療センター

1-011-5 **誰にでもできる性犯罪を繰り返す患者の外来治療**
○成瀬 暢也
埼玉県立精神医療センター

15:50～16:50 一般演題（口演）13
依存・行動嗜癖２

司会：**曽良 一郎**　神戸大学大学院医学研究科精神医学分野

1-013-1 **物質使用障害患者における断酒・断薬期間に関する報告 −初診３年後予後調査より−**
○板橋 登子、小林 桜児、黒澤 文貴、福生 泰久、西村 康平
神奈川県立精神医療センター

1-013-2 **依存症患者における小児期逆境体験 −1,700 人分の初診時調査の報告−**
○小林 桜児、板橋 登子、黒澤 文貴、西村 康平、福生 泰久
神奈川県立精神医療センター精神科

1-013-3 **依存症患者のスティグマに関する意識調査**
○成瀬 暢也
埼玉県立精神医療センター

1-013-4 **わが国のオピオイド鎮痛薬乱用・依存問題の現状と対策**
○成瀬 暢也
埼玉県立精神医療センター

1-013-5 **OTC 医薬品乱用・依存の現状と課題～自験例からの考察～**
○成瀬 暢也
埼玉県立精神医療センター精神科

9月28日（月） I会場

8:30〜9:30 一般演題（口演）2
気分障害 1

司会：**白川 治** 近畿大学医学部精神神経科学講座

1-02-1 コミュニケーションサポートツールを用いた希死念慮の把握における有用性
○松下 満彦[1,2]、杉野 美幸[1]、徳永 雄一郎[1]、奥村 幸祐[1]、高田 和秀[1,2]、西 慶輔[1]、後藤 玲央[1,2]、川嵜 弘詔[2]
[1]医療法人新光会不知火病院精神科、[2]福岡大学病院

1-02-2 外来うつ病治療におけるマインドフルネス集団療法の効果の検討
○島松 まゆみ[1]、高橋 さやか[1]、杉本 浩利[1]、後藤 玲央[2]、松下 満彦[1,2]、徳永 雄一郎[1,2]
[1]医療法人新光会不知火病院、[2]福岡大学医学部精神医学部教室

1-02-3 双極性障害の症状寛解期における主観的認知機能と社会機能との関連について
○豊島 邦義、豊巻 敦人、高信 径介、渡辺 晋也、三井 信幸、賀古 勇輝、朝倉 聡、久住 一郎
北海道大学病院精神科神経科

1-02-4 ＜演題取り下げ＞

1-02-5 ＜演題取り下げ＞

9:40〜10:40 一般演題（口演）4
気分障害 2

司会：**吉野 相英** 防衛医科大学校精神科学講座

1-04-1 トラウマを有する双極 II 型障害患者に対する EMDR の試み；症例報告
○福元 進太郎[1]、松村 由紀子[1]、椎野 智子[1,2]、上野 幹二[1]、大森 一郎[1]、小坂 浩隆[1]
[1]福井大学医学部精神医学、[2]福井大学子どものこころの発達研究センター情動認知発達研究部門

1-04-2 難治性うつ状態の診断・治療の適正化により社会復帰に至った一例
○丸木 拓、高江洲 義和、坪井 貴嗣、渡邊 衡一郎
杏林大学病院精神科

1-04-3 縊頸自殺企図後に症状が劇的に改善したうつ病の一例
○高野 学、関谷 竜彦、岡田 剛史、小林 聡幸、須田 史朗
自治医科大学附属病院

1-04-4 初発躁病エピソードで月経周期との関連から若年周期性精神病と診断した一例
○小林 正明[1]、山形 弘隆[1]、萩原 康輔[1]、兼行 浩史[2]、中川 伸[1]
[1]山口大学医学部附属病院精神科神経科、[2]山口県立こころの医療センター

1-04-5 薬剤性錐体外路障害とうつ病性昏迷に伴う緊張病との鑑別に苦慮した 1 例
○古川 葵[1]、佐藤 由英[1]、篠﨑 將貴[1]、岡安 寛明[1]、柿本 慎太郎[2]、志水 太郎[2]、下田 和孝[1]
[1]獨協医科大学精神神経医学講座、[2]獨協医科大学総合診療医学講座

10:50～11:50 一般演題（口演）6
認知症

司会：**澁谷 譲**　日本海総合病院

1-06-1 **考想可視を認めたレビー小体型認知症（DLB）の一例**

○森岡 大智、小林 良太、林 博史、鈴木 昭仁、大谷 浩一
山形大学医学部精神医学講座

1-06-2 **認知症における抑うつと妄想の発現や悪化に関連する臨床的因子の検討**

○本田 和揮[1]、福原 竜治[1]、石川 智久[1]、遊亀 誠二[1]、田中 響[1]、宮川 雄介[1]、小山 明日香[2]、日高 洋介[2]、佐久田 静[2]、今井 正城[2,3]、竹林 実[1,2]
[1]熊本大学医学部附属病院神経精神科、[2]熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学講座、
[3]医療法人再生会くまもと心療病院

1-06-3 **NDB オープンデータを用いた本邦での抗認知症薬の処方実態調査**

○近藤 忠之[1]、酒匂 赤人[2]、樋口 早子[2]、草西 俊[1]、伊藤 寿彦[1]、榎本 哲郎[1]、吉村 健佑[3]、柳内 秀勝[2]、早川 達郎[1]
[1]国立国際医療研究センター国府台病院精神科、[2]国立国際医療研究センター国府台病院総合内科、
[3]千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター

1-06-4 **アロマセラピーは健常高齢者の認知機能改善に効果があるのか？ −ランダム化比較試験（RCT）による検証−**

○宗 未来[1,2]、小杉 良子[2]、新生 暁子[3]、小田木 友依[2]、腰 みさき[2]、橋本 空[4]、関沢 洋一[5]、小西 海香[2]、田渕 肇[2]、三村 將[2]
[1]東京歯科大学市川総合病院精神科、[2]慶應義塾大学医学部精神神経科学教室、[3]順天堂大学スポーツ健康科学部、
[4]ユナイテッド・ヘルスコミュニケーション株式会社、[5]独立行政法人経済産業研究所

1-06-5 **＜演題取り下げ＞**

12:00～13:00 一般演題（口演）8
老年期精神障害

司会：**小林 直人**　医療法人湖山荘あずま通りクリニック

1-08-1 **高齢者における問題解決型/回避型ストレスコーピングと海馬微小部位の体積との関連：Arakawa 65+ Study**

○喜田 恒[1]、中島 振一郎[1]、色本 涼[1]、越智 涼[2]、野田 賀大[1]、津川 幸子[1]、藤井 進也[2]、高山 緑[3]、三村 將[1]、新村 秀人[1]
[1]慶應義塾大学医学部精神神経科学教室、[2]慶應義塾大学環境情報学部、[3]慶應義塾大学理工学部

1-08-2 **＜演題取り下げ＞**

1-08-3 **高齢の身体表現性障害患者における脳血流の変化**

○戸田 亘[1]、松本 純弥[1]、石井 士朗[2]、板垣 俊太郎[1,3]、大谷 晃司[4,5]、青木 俊太郎[1,5]、三浦 至[1]、志賀 哲也[1]、松本 貴智[1]、菅原 茂耕[2]、山國 遼[2]、箱﨑 元晴[2]、渡邊 宏剛[2]、矢吹 省司[4]、二階堂 琢也[4]、渡邉 和之[4]、加藤 欽志[4]、小林 洋[4]、伊藤 浩[2]、紺野 愼一[4]、矢部 博興[1]
[1]福島県立医科大学医学部神経精神医学講座、[2]福島県立医科大学医学部放射線医学講座、
[3]福島県立医科大学事務局大学健康管理センター、[4]福島県立医科大学医学部整形外科学講座、
[5]福島県立医科大学医療人育成・支援センター

1-08-4 **訪問嚥下内視鏡から見た地域の認知症嚥下障害の実態**

○松岡 秀樹[1,2]、木村 翔一[1]、内田 直樹[1,2]、浦島 創[1]、川嵜 弘詔[2]
[1]医療法人すずらん会たろうクリニック、[2]福岡大学医学部精神医学教室

1-08-5 **高齢者にみられる幻の同居人妄想 −認知症鑑別診断時に症状を認めた 16 例の検討−**

○深津 孝英、兼本 浩祐
愛知医科大学病院

13:30〜14:30 一般演題（口演）10
てんかん

司会：**篠崎 和弘** 浅香山病院臨床研究研修センター

1-010-1 **めまい主訴の側頭葉てんかん 1 症例**

○清水 謙祐[1,2]、中村 雄[2]、湯地 俊子[2]、東野 哲也[2]、石田 康[3]、吉田 建世[1]
[1]医療法人建悠会吉田病院精神科、[2]宮崎大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科学教室、
[3]国立大学法人宮崎大学医学部附属病院

1-010-2 **100 countdown と緊急脳波検査で精神症状と鑑別できた非けいれん性てんかん重積の 1 例**

○澤井 大和[1]、中井 三春[1]、谷口 豪[1]、南 倫[1]、岡村 由美子[1]、秋田 萌[2]、眞﨑 桂[2]、近藤 伸介[1]、笠井 清登[1]
[1]東京大学医学部附属病院精神神経科、[2]東京大学医学部附属病院検査部

1-010-3 **うつ病が背景にあり、側頭葉てんかん症状が見逃されていた高齢女性：症例報告**

○神谷 拓、三崎 真寛、上野 幹二、大森 一郎、小坂 浩隆
福井大学医学部精神医学

1-010-4 **高齢発症てんかんの 25 症例**

○久保田 修司[1]、三國 雅彦[2]、三上 昭廣[2]
[1]函館渡辺病院附属ゆのかわメンタルクリニック、[2]函館渡辺病院

1-010-5 **てんかん患者とその家族を対象とした集団精神療法の有用性に関する研究**

○倉持 泉[1]、大賀 公子[2]、小林 清香[1]、宮脇 優子[1]、石原 智樹[3]、荒瀧 千絵子[1]、佐々木 剛[1]、栗原 瑛大[1]、畠田 順一[1]、和氣 大成[1]、森田 美穂[1,2]、梅村 智樹[1]、志賀浪 貴文[1]、安田 貴昭[1]、吉益 晴夫[1]
[1]埼玉医科大学総合医療センターメンタルクリニック、[2]埼玉医科大学総合医療センター看護部、
[3]埼玉医科大学総合医療センター薬剤部

14:40〜15:40 一般演題（口演）12
児童・思春期・発達障害 1

司会：**星野 仁彦** 公益財団法人星総合病院星ヶ丘病院、福島学院大学大学院心理学研究科臨床心理学専攻

1-012-1 **児童心理治療施設での児童精神科医の役割 −症例を通じて−**

○近藤 強
チヨダクリニック精神科、児童精神科

1-012-2 **＜演題取り下げ＞**

1-012-3 **＜演題取り下げ＞**

1-012-4 ADHDによる衝動制御障害が症状を増悪させた肢端紅痛症の一例

○落合 晴香、後藤 大介、浅野 太志、鈴木 二妙香、後藤 將之、板垣 俊太郎、三浦 至、
矢部 博興
福島県立医科大学神経精神医学講座

15:50～16:50 一般演題（口演）14
児童・思春期・発達障害２

司会：**太田 豊作** 奈良県立医科大学精神医学講座

1-014-1 ＜演題取り下げ＞

1-014-2 成人期における注意欠如・多動症と自閉スペクトラム症の関連について –成人ADHD検査およびAQ-Jを用いて–

○倉田 孝一
社会医療法人財団松原愛育会松原病院医療部

1-014-3 著しい「道順障害」を呈したADHDにアトモキセチンが奏効した１例

○沖村 宰[1,2]、池田 杏実[3]
[1]医療法人社団碧水会長谷川病院精神科、[2]慶應義塾大学医学部精神神経科、
[3]医療法人社団碧水会長谷川病院心理療法科

1-014-4 顕著な被害妄想を呈し統合失調症と自閉症スペクトラム症の鑑別に苦慮した一例

○佐藤 雄紀
医療福祉センター倉吉病院

1-014-5 神経発達の生活臨床の試み –いかにして自閉スペクトラム症者の生活は社会と噛み合うようになっていくのか–

○米田 衆介[1]、青山 陽子[1]、江村 康[3]、古川 はるこ[2]
[1]明神下診療所、[2]東京慈恵会医科大学附属柏病院、[3]帝京大学精神科

9月28日（月） J会場

10:40〜12:40 シンポジウム 5
精神科薬物療法の出口戦略に資する実践マニュアル

司会：**三島 和夫** 秋田大学大学院医学系研究科精神科学講座
稲田 健 東京女子医科大学医学部精神医学講座

S5-1 統合失調症における抗精神病薬の出口戦略
○稲田 健
東京女子医科大学医学部精神医学講座

S5-2 うつ病寛解後、治療終了にむけて知っておきたいこと
○加藤 正樹
関西医科大学附属病院

S5-3 抗不安薬の出口戦略に資する実践マニュアル
○大坪 天平
東京女子医科大学東医療センター精神科

S5-4 睡眠薬
○高江洲 義和
杏林大学精神神経科学教室

S5-5 寛解後に ADHD 治療薬を継続するか中止するか：患者との共同意思決定のための出口戦略ガイドライン
○岡田 俊[1]、辻井 農亜[2]、宇佐美 政英[3]、藤田 純一[4]、根來 秀樹[5]、桑原 秀徳[6]、飯田 順三[7]、齊藤 卓弥[8]
[1]国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的・発達障害研究部、[2]近畿大学医学部精神神経科学教室、[3]国立国際医療研究センター国府台病院子どものこころ総合診療センター、[4]横浜市立大学附属病院児童精神科、[5]奈良教育大学教職大学院教職開発講座、[6]医療法人せのがわ瀬野川病院、[7]奈良県立医科大学看護学科、[8]北海道大学大学院医学研究科児童思春期精神医学講座

〈コーディネーター〉 三島 和夫 秋田大学大学院医学系研究科精神科学講座
稲田 健 東京女子医科大学医学部精神医学講座

13:30〜15:30 シンポジウム 15
認知症非専門医のための認知症診療の基本

司会：**馬場 元** 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院メンタルクリニック
水上 勝義 筑波大学大学院人間総合科学研究科

S15-1 改定版長谷川式簡易知能スケールと MMSE をどう活用するか
○谷向 知
愛媛大学大学院医学系研究科地域健康システム看護学講座老年・精神地域包括ケア学

S15-2 認知症診断に役立つ画像診断の基本
○川勝 忍
福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座

S15-3 ときどき遭遇する認知症
○新井 哲明
筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学

S15-4 **認知症非専門医のための認知症診療の基本**

○馬場 元
順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院メンタルクリニック

S15-5 **パーキンソン症状を伴う認知機能障害**

○頼高 朝子
順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院脳神経内科

〈コーディネーター〉 馬場 元　順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院メンタルクリニック
水上 勝義　筑波大学大学院人間総合科学研究科

15:50～17:50 シンポジウム 24
日伊精神保健医療福祉の到達点と今後の展望

司会：**上島 雅彦**　竹田綜合病院
青木 勉　総合病院国保旭中央病院

S24-1 **東京ソテリアにおけるボローニャとの交流事業概要**

○塚本 さやか
特定非営利活動法人東京ソテリア

S24-2 **フランコ・バザーリア 精神医学と哲学のあいだ 過去から現在へ**

○栗原 和美
特定非営利活動法人東京ソテリア

S24-3 **日伊精神保健医療福祉の到達点と今後の展望 –保健センターを軸にした地域精神保健の展開**

○安保 寛明
山形県立保健医療大学

S24-4 **日伊精神保健医療福祉の到達点と今後の展望 –REMS の実践と司法精神医療制度のあり方から見えるもの**

○三品 竜浩
法務省仙台保護観察所

S24-5 **〔指定発言〕**

○青木 勉
総合病院国保旭中央病院

〈コーディネーター〉 上島 雅彦　竹田綜合病院精神科

9月28日（月） K会場

10:40〜12:40 シンポジウム6
てんかん専門精神科医の現在・これから

司会：**谷口 豪** 東京大学医学部附属病院精神神経科
宮島 美穂 東京医科歯科大学医学部附属病院

S6-1 **精神科でてんかんを専門とするキャリア形成について〜開業医の立場から〜**
○原 恵子
原クリニック精神科

S6-2 **てんかんと睡眠 両者の専門医から生まれる視点**
○高木 俊輔
東京医科歯科大学精神科

S6-3 **精神科てんかん診療の現状と可能性**
○藤岡 真生[1]、中野 仁[2]
[1]東京大学医学部附属病院精神神経科、[2]市ケ尾病院神経内科

S6-4 **てんかん患者とその家族を対象とした集団精神療法の実践を通して**
○倉持 泉
埼玉医科大学総合医療センター

S6-5 **精神科単科病院に勤務するてんかん専門医の実情**
○児玉 智博、島﨑 正次
久喜すずのき病院精神科

S6-6 **〔指定発言〕**
○渡辺 雅子
新宿神経クリニック

〈コーディネーター〉 谷口 豪 東京大学医学部附属病院精神神経科
宮島 美穂 東京医科歯科大学医学部附属病院

13:30〜15:30 シンポジウム16
日常診療・こんなときどうしたらいい？

司会：**窪田 幸久** 中央公園クリニック
渡辺 雅子 新宿神経クリニック精神科

S16-1 **抗うつ薬への反応が不十分な場合にどうすればよいのか？**
○香月 あすか、堀 輝、吉村 玲児
産業医科大学病院精神医学教室

S16-2 **日常診療・こんなときどうしたらいい？〜てんかん患者さんが挙児希望されたら〜**
○原 恵子
原クリニック精神科

S16-3 **LAIをめぐる対話 −臨床的リカバリーとパーソナルリカバリー双方の実現を目指して−**
○渡邉 真里子
ちはやACTクリニック

S16-4 **アルコール依存症を疑ったら**
○安川 節子
熊本ファミリーメンタルクリニック

〈コーディネーター〉 渡辺 雅子 新宿神経クリニック精神科
安川 節子 くまもとファミリーメンタルクリニック

15:50〜17:50 シンポジウム 25
統合失調症とはどういうことか

司会：**村井 俊哉** 京都大学医学部附属病院

S25-1 **『統合失調症』とは何か 精神病理学的視点から**
○古茶 大樹
聖マリアンナ医科大学神経精神科

S25-2 **「共感」の人類学：当事者科学としての精神医学に向けて**
○北中 淳子
慶應義塾大学文学部

S25-3 **統合失調症：文化精神医学からの一視点**
○江口 重幸
東京武蔵野病院精神神経科

S25-4 **生物学的精神医学はどこまで Kraepelin の夢に迫れたのだろう**
○糸川 昌成
東京都医学総合研究所病院等連携研究センター

S25-5 **〔指定発言〕**
○村井 俊哉
京都大学医学部附属病院

〈コーディネーター〉 糸川 昌成 東京都医学総合研究所病院等連携研究センター
村井 俊哉 京都大学医学部附属病院

9月28日（月） L会場

8:30〜10:30 委員会シンポジウム 1（精神医療・保健福祉システム委員会）
措置入院制度を見直す −告知の視点から

司会：**角藤 芳久** 宮城県立精神医療センター
太田 順一郎 岡山市こころの健康センター

CS1-1 **措置入院者の退院後支援と本人同意**
○藤井 千代
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域・司法精神医療研究部

CS1-2 **措置入院の告知を巡る諸問題〜患者、指定医、行政、司法の認識のズレに注目して〜**
○椎名 明大
千葉大学社会精神保健教育研究センター

CS1-3 **措置入院における告知の意義と現状の問題点**
○姜 文江
法律事務所ヴェント

CS1-4 **措置入院に関する説明と理解**
○浅見 隆康
群馬大学健康支援総合センター昭和健康支援室

CS1-5 **〔指定発言〕**
○根本 康
さいたま市立病院

〈コーディネーター〉 浅見 隆康 群馬大学健康支援総合センター昭和健康支援室
太田 順一郎 岡山市こころの健康センター

10:40〜12:40 シンポジウム 7
精神科医のための臨床脳画像「読影入門」−各論編−

司会：**曾根 大地** University College London Institute of Neurology
根本 清貴 筑波大学附属病院

S7-1 **画像診断のための脳マクロ解剖学**
○曾根 大地
University College London Institute of Neurology

S7-2 **頭部 CT の読み方：画像の成り立ちから読影まで**
○木村 有喜男
国立精神・神経医療研究センター病院放射線科

S7-3 **MR 拡散強調画像の読み方と診断に役立つ所見**
○佐藤 典子
国立精神・神経医療研究センター病院

S7-4 **認知症の画像診断**
○松田 博史
国立精神・神経医療研究センター

〈コーディネーター〉 曾根 大地 University College London Institute of Neurology
根本 清貴 筑波大学附属病院
松田 博史 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

シンポジウム 17
取り下げ

15:50～17:50

委員会シンポジウム 12（精神保健福祉法委員会）
精神科入院におけるアドボケイト制度に求められるもの

司会：**太田 順一郎**　岡山市こころの健康センター
岡崎 伸郎　独立行政法人国立病院機構仙台医療センター

CS12-1　**精神保健福祉法委員会が考える権利擁護者（アドボケイト）制度**
○佐竹 直子
国立精神・神経医療研究センター病院

CS12-2　**精神保健当番弁護士の実践から**
○田瀬 憲夫
福岡県弁護士会

CS12-3　**精神科入院におけるセルフアドボカシーと第三者によるアドボケイト**
○彼谷 哲志
認定NPO大阪精神医療人権センター

CS12-4　**イングランドにおけるアドボケイト制度の運用と今後の展望**
○赤沼 のぞみ
South London & Maudsley NHS Trust Psychosis CAG

〈コーディネーター〉　太田 順一郎　岡山市こころの健康センター
大石 賢吾　千葉大学医学部附属病院精神神経科

9月28日（月） M会場

委員会シンポジウム 2
取り下げ

11:00〜13:00 シンポジウム 8
現代精神医学に病因論はありえるか？ −疾患、特質（特性）、生活史（物語）

司会：**豊嶋 良一** フリーランス
古茶 大樹 聖マリアンナ医科大学神経精神科

S8-1 **内因性概念は最近の臨床現場にはもう必要なくなったのか？**
○須賀 英道
龍谷大学短期大学部

S8-2 **病因論からみる DSM-5 と ICD-11**
○針間 博彦
東京都立松沢病院

S8-3 **病因論とマクヒュー/スラヴニーの『現代精神医学』**
○榊原 英輔
東京大学医学部附属病院精神神経科

S8-4 **臨床的有用性の観点から精神医学における「病因」を考える**
○太田 敏男
社会医療法人財団石心会さやま総合クリニック精神科

S8-5 **〔指定発言〕**
○古茶 大樹
聖マリアンナ医科大学神経精神科

〈コーディネーター〉 須賀 英道 龍谷大学短期大学部
豊嶋 良一 フリーランス

13:30〜15:30 シンポジウム 18
緊張病症候群と身体〜生物学的基盤・合併する身体疾患・治療法〜

司会：**船山 道隆** 足利赤十字病院
是木 明宏 独立行政法人国立病院機構下総精神医療センター

S18-1 **救急、ICU における緊張病症候群：致死性緊張病は現在でも存在するか？**
○石田 琢人
東京都立墨東病院救命救急センター

S18-2 **統合失調症の緊張病症候群に伴う身体合併症への治療戦略**
○船山 道隆
足利赤十字病院精神神経科部長

S18-3 **緊張病症候群の実臨床**
○高田 武人、船山 道隆
足利赤十字病院

S18-4 **緊張病症候群の生物学的基盤**

○黒瀬 心
慶応義塾大学医学部精神神経科学教室

〈コーディネーター〉 船山 道隆 足利赤十字病院

15:50～17:50 シンポジウム 26
アカデミアからフロンティアを目指した rTMS 臨床研究の挑戦

司会：**野田 賀大** 慶應義塾大学医学部・精神・神経科学教室
鬼頭 伸輔 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院/東京慈恵会医科大学附属病院

S26-1 **日本発の最先端ニューロモデュレーション研究を目指して**

○野田 賀大
慶應義塾大学医学部・精神・神経科学教室

S26-2 **精神神経疾患への rTMS 研究**

○鬼頭 伸輔[1,2]
[1]国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院、[2]東京慈恵会医科大学精神医学講座

S26-3 **和歌県医科学附属病院における rTMS 臨床研究の現状と課題**

○髙橋 隼
和歌山県立医科大学医学部神経精神医学教室

S26-4 **反復経頭蓋磁気刺激療法（rTMS）の大学導入への取り組みと運動閾値に影響する因子の検討**

○池田 俊一郎、吉村 匡史、嶽北 佳輝、北浦 祐一、青木 宣篤、南 翔太、桂 功士、佃 万里、木下 利彦
関西医科大学精神神経科学教室

S26-5 **佐賀大学病院における rTMS 臨床研究の現状と課題**

○立石 洋[1]、門司 晃[2]
[1]佐賀大学医学部附属病院精神神経科、[2]佐賀大学医学部精神医学講座

〈コーディネーター〉 野田 賀大 慶應義塾大学医学部・精神・神経科学教室
鬼頭 伸輔 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院/東京慈恵会医科大学附属病院

9月28日（月） N会場

シンポジウム２
取り下げ

10:40〜12:40 シンポジウム９
精神疾患・神経疾患におけるニューロモジュレーション治療への期待と課題

司会：**松尾 幸治** 埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科
竹林 実 熊本大学医学部附属病院神経精神科

S9-1 **精神科治療における rTMS の現状と課題**
○野田 賀大
慶應義塾大学医学部・精神・神経科学教室

S9-2 **精神科疾患に対する経頭蓋直流電気刺激の効果と展望：国立精神・神経医療研究センターでの検討**
○住吉 太幹[1]、山田 悠至[2]、稲川 拓磨[2]、横井 優磨[2]、中込 和幸[2]、成田 瑞[3]
[1]国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部、
[2]国立精神・神経医療研究センター病院、[3]ジョンズ・ホプキンス公衆衛生大学院

S9-3 **てんかんに対する迷走神経刺激療法の開発経緯と現状**
○川合 謙介
自治医科大学

S9-4 **不随意運動症に対する脳深部刺激術**
○杉山 憲嗣[1,2]、野崎 孝雄[1]、難波 宏樹[1]
[1]浜松医科大学脳神経外科、[2]豊田えいせい病院脳神経外科

〈コーディネーター〉 松尾 幸治 埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科

13:30〜15:30 シンポジウム 19
フロイト、ユング、森田の人間観とその精神療法が目指すもの

司会：**北西 憲二** 北西クリニック、森田療法研究所
新村 秀人 慶應義塾大学医学部精神神経科学教室

S19-1 **精神療法が目指す人間観を明らかにするには**
○田所 重紀
室蘭工業大学保健管理センター

S19-2 **フロイトの人間観：晩年の「死の欲動」の創出とその源泉にみる精神分析の目指すもの**
○加藤 隆弘
九州大学大学院医学研究院精神病態医学

S19-3 **C.G.ユングの人間観 −断念とかなしみの視点から**
○林 公輔
学習院大学文学部心理学科

S19-4 **森田正馬の人間観：我を離れて、我を発揮する**
○新村 秀人
慶應義塾大学医学部精神神経科学教室

〈コーディネーター〉 新村 秀人 慶應義塾大学医学部精神神経科学教室

15:50～17:50 シンポジウム 27
強度行動障害の医療と福祉・教育をつなぐ

司会：**會田 千重**　独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター精神科
市川 宏伸　日本発達障害ネットワーク

S27-1 **専門病棟での他機関との連携と、強度行動障害医療メーリングリストについて**
○會田 千重
独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター精神科

S27-2 **精神科病棟における強度行動障害医療を実践するコツ**
○山下 健
独立行政法人国立病院機構榊原病院

S27-3 **専門施設から強度行動障害全般に対して考えること**
○成田 秀幸
国立重度知的障害者総合施設のぞみの園診療部

S27-4 **〔指定発言〕**
○井上 雅彦
鳥取大学大学院医学系研究科臨床心理学講座

S27-5 **〔指定発言〕**
○田渕 賀裕[1,2]
[1]東日本少年矯正医療・教育センター、[2]医療法人社団翠会成増厚生病院

S27-6 **〔指定発言〕**
○片桐 公彦
厚生労働省

〈コーディネーター〉 會田 千重　独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター精神科
市川 宏伸　日本発達障害ネットワーク

9月28日（月）　O会場

ワークショップ 2
取り下げ

10:40〜12:40　シンポジウム 10
自治体による寄附講座による児童青年期精神科プログラムの意義

司会：**齊藤　卓弥**　北海道大学大学病院児童思春期精神医学研究部門
今村　明　北海道大学大学病院児童思春期精神医学研究部門/長崎大学病院地域連携児童思春期精神医学診療部

S10-1　**長野県と信州大学との提携による「発達障がい診療人材育成事業」**
○本田　秀夫
信州大学医学部子どものこころの発達医学教室

S10-2　**高知県における児童青年期精神科医療体制の整備**
○高橋　秀俊
高知大学医学部児童青年期精神医学（寄附講座）

S10-3　**長崎県における児童精神科医育成システム**
○今村　明[1]、金替　伸治[1]、山本　直毅[1,2]、松坂　雄亮[2]、小澤　寛樹[1,2]
[1]長崎大学病院地域連携児童思春期精神医学診療部、[2]長崎大学大学院医歯薬学総合研究科精神神経学

S10-4　**札幌市における児童精神科医療の再構築と児童精神科医養成プログラムの開発**
○齊藤　卓弥
北海道大学大学病院児童思春期精神医学研究部門

〈コーディネーター〉　齊藤　卓弥　　北海道大学大学病院児童思春期精神医学研究部門

13:30〜15:30　シンポジウム 20
統合失調症薬物治療ガイドラインの普及：SDM を用いた利活用への期待

司会：**稲田　健**　東京女子医科大学病院
古郡　規雄　獨協医科大学精神神経医学講座

S20-1　**統合失調症薬物治療ガイドライン改訂版の概要**
○橋本　亮太
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部

S20-2　○相沢　隆司
YPS横浜ピアスタッフ協会

S20-3　○藤井　哲也
YPS横浜ピアスタッフ協会

S20-4　○加藤　玲
東京都新宿区精神障害者家族会「新宿フレンズ」

S20-5 **支援者としての立場から（薬剤師）**

○永井 努[1,2]
[1]昭和大学薬学部病院薬剤学講座、[2]昭和大学附属烏山病院薬局

S20-6 **〔指定発言〕**

○松井 佑樹
医療法人明心会仁大病院

S20-7 **〔指定発言〕**

○尾崎 紀夫
精神医学・精神生物学・発達老年精神医学・親と子どもの心療学・精神医療学

〈コーディネーター〉 染矢 俊幸　新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学
古郡 規雄　獨協医科大学精神神経医学講座

15:50～17:50 シンポジウム 28
ポジティブ精神医学の活用 医療から教育分野への応用へ

司会：**三村 將**　慶應義塾大学精神神経科学教室
佐久間 啓　社会医療法人あさかホスピタル

S28-1 **ポジティブと未来思考～脳機能画像を中心に～**

○菊地 俊暁
慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室

S28-2 **自殺防止と自然体験による自己像の変化**

○徳永 雄一郎
不知火病院精神科

S28-3 **ジュニアアスリートのこころの健康教育**

○関﨑 亮[1,2,3]
[1]東邦大学医療センター大森病院、[2]桐生第一高等学校、[3]株式会社Welome to talk

S28-4 **ポジティブ心理学・精神医学の教育領域への応用**

○島井 哲志
関西福祉科学大学

S28-5 **〔指定発言〕**

○大野 裕
認知行動療法研修開発センター

〈コーディネーター〉 佐久間 啓　社会医療法人あさかホスピタル
大野 裕　認知行動療法研修開発センター
須賀 英道　龍谷大学短期大学部

9月28日（月） P会場

ワークショップ３
取り下げ

11:00〜13:00 シンポジウム 11
難治性疼痛 −身体部位別にみた対応の差と共通点−

司会：**宮岡 等** 北里大学病院精神神経科
臼井 千恵 順天堂大学医学部附属練馬病院

S11-1 **難治性疼痛 −口腔領域の疼痛−**
○宮地 英雄
北里大学健康管理センター健康管理センター

S11-2 **慢性腰痛の精神医学的問題**
○西原 真理
愛知医科大学病院

S11-3 **慢性疼痛に対する集団認知行動療法 −身体部位別にみた対応の差と共通点−**
○吉野 敦雄、岡本 泰昌
広島大学大学院医系科学研究科精神神経医科学

S11-4 **リウマチ性疾患における個人の疼痛の自覚（痛みの感受性）**
○村松 公美子
新潟青陵大学大学院臨床心理学研究科

〈コーディネーター〉 宮岡 等 北里大学病院精神神経科
宮地 英雄 北里大学健康管理センター

13:30〜15:30 委員会シンポジウム 6（ECT・rTMS 等検討委員会）
精神医療における ECT の役割

司会：**水野 雅文** 東邦大学医学部精神神経医学講座
福田 正人 群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学

CS6-1 **急性期医療の治療計画における ECT の役割**
○奥田 純平
社会医療法人北斗会さわ病院

CS6-2 **ECT 治療後の再発をどのようにしたら防げるのか？**
○竹林 実
熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学講座

CS6-3 **ECT における多職種との連携**
○奥村 正紀
医療法人社団八葉会大石記念病院

CS6-4 **精神科地域連携における ECT の役割**

○野田 隆政[1,2]
[1]国立精神・神経医療研究センター病院第一精神診療部、
[2]国立精神・神経医療研究センター脳病態統合イメージングセンター臨床脳画像研究部臨床光画像研究室

〈コーディネーター〉 野田 隆政 国立精神・神経医療研究センター病院精神科/国立精神・神経医療研究センター脳病態統合イメージングセンター臨床脳画像研究部臨床光画像研究室

15:50〜17:50 シンポジウム 29
気質とメンタルヘルス

司会：**井上 猛** 東京医科大学病院
寺尾 岳 大分大学医学部精神神経医学講座

S29-1 **主観的社会的地位と気質**

○井上 猛
東京医科大学精神医学分野

S29-2 **虐待と気質の気分障害に与える影響**

○戸田 裕之、斎藤 拓、吉野 相英
防衛医科大学校病院精神科学講座

S29-3 **就労者の職業性ストレスと気質の関連について**

○出口 裕彦
大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学

S29-4 **気質と双極性障害**

○河野 健太郎、石井 啓義、寺尾 岳
大分大学医学部精神神経医学講座

〈コーディネーター〉 寺尾 岳 大分大学医学部精神神経医学講座
井上 猛 東京医科大学病院

9月28日（月） Q会場

8:30〜10:10 ワークショップ 4（ICD-11 委員会）
ICD-11 を適切に使うための知識

司会：**秋山 剛** NTT東日本関東病院
丸田 敏雅 聖徳大学保健センター

WS4 〈講演者〉
松本 ちひろ 日本精神神経学会
近藤 伸介 東京大学医学部附属病院
本村 啓介 肥前精神医療センター
有馬 秀晃 東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野

〈コーディネーター〉
丸田 敏雅 聖徳大学保健センター
秋山 剛 NTT東日本関東病院
松本 ちひろ 日本精神神経学会

10:40〜12:40 シンポジウム 12
今、求められている精神科医の認知症医療への参画

司会：**池田 学** 大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室
前田 潔 神戸学院大学総合リハビリテーション学部

S12-1 **わが国の認知症施策の現状と課題**
○粟田 主一
東京都健康長寿医療センター研究所自立促進と精神保健研究チーム

S12-2 **熊本県における認知症高齢者地域包括的ケアの実践**
○石川 智久
熊本大学病院神経精神科

S12-3 **神戸市における「認知症神戸モデル」への精神科行政医師の参画**
○長谷川 典子
神戸市保健福祉局高齢福祉部

S12-4 **若年性認知症支援における精神科医の役割**
○内海 久美子
砂川市立病院

S12-5 **認知症初期集中支援チームにおける精神科医の役割**
○池田 学
大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室

〈コーディネーター〉 池田 学 大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室

13:30〜15:30 シンポジウム 21
主体性（Agency）の精神医学におけるトランスレーショナルリサーチ：ニューラルネットワークの統合的理解

司会：**前田 貴記** 慶應義塾大学医学部精神神経科
山田 光彦 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

S21-1 **主体性（Agency）の精神医学：自己意識の実証的研究のための方法論**
○前田 貴記
慶應義塾大学医学部精神神経科

S21-2 **動物モデルを用いて運動主体感のメカニズムに迫る**

○山田 光彦[1]、古家 宏樹[1]、三輪 秀樹[1]、中武 優子[1,2]、寺尾 真実[1,3]、澤 幸祐[1,3]
[1]国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神薬理研究部、[2]東京理科大学薬学部疾患薬理学研究室、
[3]専修大学人間科学部心理学科

S21-3 **脳の計算理論を用いて運動主体感異常の病態メカニズムに迫る**

○山下 祐一
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第七部

S21-4 **バーチャルリアリティによる運動主体感のメカニズムの理解と認知リハビリテーションへの応用**

○鈴木 啓介[1,2]
[1]サセックス大学サックラー意識科学研究センター、[2]サセックス大学情報学科

S21-5 **〔指定発言〕**

○村井 俊哉
京都大学医学部附属病院

〈コーディネーター〉 前田 貴記　慶應義塾大学医学部精神神経科
山下 祐一　国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
山田 光彦　国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

15:50〜17:50 シンポジウム 30
Mismatch negativity（MMN）：統合失調症バイオマーカー

司会：**住吉 太幹**　国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
鬼塚 俊明　九州大学病院

S30-1 **早期精神病研究における MMN の役割**

○樋口 悠子[1,2]、立野 貴大[1]、中島 英[1]、高橋 努[1]、水上 祐子[1]、西山 志満子[1,3]、住吉 太幹[2]、
鈴木 道雄[1]
[1]富山大学学術研究部医学系神経精神医学講座、[2]国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、
[3]富山大学学術研究部教育系保健管理センター

S30-2 **統合失調症における MMN**

○荒木 剛、切原 賢治、永井 達哉、多田 真理子、臼井 香、藤岡 真生、越山 太輔、笠井 清登
東京大学医学部附属病院精神神経科

S30-3 **精神薬理・遺伝学的観点からみる統合失調症とミスマッチ陰性電位**

○志賀 哲也、落合 晴香、星野 大、堀越 翔、菅野 和子、大島 洋和、三浦 至、松岡 貴志、
矢部 博興
福島県立医科大学医学部神経精神医学講座

〈コーディネーター〉 矢部 博興　福島県立医科大学医学部神経精神医学講座
住吉 太幹　国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

9月28日（月） R会場

8:30〜10:10 **ワークショップ 5**（男女共同参画推進委員会）
様々な場所で働く女性精神科医の仕事を知ろう

司会：**加茂 登志子** 若松町こころとひふのクリニック
安川 節子 熊本ファミリーメンタルクリニック

WS5 〈講演者〉
布施 泰子 茨城大学保健管理センター
林 みづ穂 仙台市精神保健福祉総合センター
内田 淳子 有限責任監査法人トーマツ
田崎 みどり 横浜市児童相談所

〈コーディネーター〉
安川 節子 熊本ファミリーメンタルクリニック
加茂 登志子 若松町こころとひふのクリニック
布施 泰子 茨城大学保健管理センター

10:40〜12:40 **シンポジウム 13**
個別化精神医療確立に向けたバイオバンク整備の展望

司会：**富田 博秋** 東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野/東北大学東北メディカル・メガバンク機構
尾崎 紀夫 名古屋大学大学院医学系研究科精神医学・親と子どもの心療学分野

S13-1 **東北メディカル・メガバンク機構バイオバンクの現状と展望**
○峯岸 直子
東北大学東北メディカル・メガバンク機構/東北メディカル・メガバンク計画研究グループ

S13-2 **抑うつ状態を呈する妊産婦の個別化精神医療実現を目指した前向きコホート研究**
○尾崎 紀夫
名古屋大学大学院医学系研究科精神医学・親と子どもの心療学分野

S13-3 **精神科ゲノム学とバイオバンク**
○池田 匡志
藤田医科大学医学部精神神経科学

S13-4 **バイオバンク情報への機械学習の導入**
○髙橋 雄太[1,2]、植木 優夫[2]、田宮 元[2]、富田 博秋[1,2]
[1]東北大学病院精神科、[2]東北メディカル・メガバンク機構

S13-5 **東北メディカル・メガバンク事業と個別化精神医療**
○富田 博秋[1,2]、東北メディカル・メガバンク計画 研究グループ[2]
[1]東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野、[2]東北大学東北メディカル・メガバンク機構

〈コーディネーター〉 富田 博秋 東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野/東北大学東北メディカル・メガバンク機構

13:30〜15:30 シンポジウム 22
事例で理解する複雑性 PTSD 治療の流れ –実臨床に明日から役立つリソース–

司会：**松本 俊彦**　国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
植村 太郎　独立行政法人労働者健康安全機構神戸労災病院

S22-1　**症例で読み解くホログラフィートークの複雑性 PTSD に対するアプローチ**
○嶺 輝子
アースシー・ヒーリング・セラピー

S22-2　**〔複雑性 PTSD 患者の外来臨床〕#構造的解離 #段階的治療 #心の傷を癒やすリソース #USPT**
○新谷 宏伸[1,2]
[1]本庄児玉病院、[2]USPT研究会

S22-3　**複雑性 PTSD の治療にも期待される眼を使う心理療法「ブレインスポッティング」**
○鈴木 孝信
東京多摩ネット心理相談室

S22-4　**事例で理解する複雑性 PTSD に対するスキーマ療法の臨床実践**
○伊藤 絵美
洗足ストレスコーピング・サポートオフィス

〈コーディネーター〉 新谷 宏伸　本庄児玉病院・USPT研究会
松本 俊彦　国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
黒木 俊秀　九州大学大学院人間環境学研究院臨床心理学講座

シンポジウム 31
取り下げ

9月28日（月） ポスター会場

一般演題（ポスター）1
統合失調症 1

1-P1-1 統合失調症罹患状態一致一卵性双生児家系の全エクソーム解析および症例・対照研究

○渡部 雄一郎[1]、保谷 智史[1]、布川 綾子[1,2]、澁谷 雅子[1,2]、井桁 裕文[1]、森川 亮[1]、染矢 俊幸[1]
[1]新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、[2]南浜病院

1-P1-2 統合失調症罹患同胞対・両親の全エクソームシーケンスおよび SPATA7 遺伝子リシーケンスと関連解析

○井桁 裕文[1]、渡部 雄一郎[1]、森川 亮[1]、池田 匡志[2]、大塚 郁夫[3]、保谷 智史[1]、小泉 暢大栄[1]、江川 純[1]、菱本 明豊[3]、岩田 仲生[2]、染矢 俊幸[1]
[1]新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、[2]藤田医科大学医学部精神神経科学、
[3]神戸大学大学院医学研究科精神医学分野

1-P1-3 不随意運動を呈した患者を含む統合失調症に対する、NPC1 および NPC2 遺伝子の検索

○藤井 久彌子[1,2]、前川 正充[3]、衞藤 義勝[4]、齋藤 尚大[5]、篠﨑 將貴[2]、有銘 預世布[6]、永島 隆秀[7,8]、岡安 寛明[2]、下田 和孝[2]、尾関 祐二[1]
[1]滋賀医科大学精神医学講座、[2]獨協医科大学精神神経医学講座、[3]東北大学病院薬剤部、
[4]（財）脳神経疾患研究所附属先端医療研究センター＆遺伝病治療研究所、
[5]医療法人カメリア横浜カメリアホスピタル、
[6]獨協医科大学先端医科学統合研究施設先端医科学研究センター認知・記憶研究部門、[7]足利赤十字病院脳神経内科、
[8]獨協医科大学内科学（脳神経）講座

1-P1-4 新規クロザピン結合タンパク質の探索 −α/β チューブリンに対する相互作用

○國井 泰人[1,2]、日野 瑞城[2]、近藤 豪[3]、和田 明[2]、松本 純弥[2]、丹羽 真一[1]、瀬藤 光利[3]、矢部 博興[1]
[1]福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座、[2]福島県立医科大学医学部神経精神医学講座、
[3]浜松医科大学医学部細胞分子解剖学講座

1-P1-5 統合失調症脳病態における脂質シグナル伝達の意義 −死後脳研究

○國井 泰人[1,2]、松本 純弥[2]、泉 竜太[2]、長岡 敦子[2]、日野 瑞城[2]、赤津 裕康[3,4]、橋詰 良夫[4]、齊ノ内 信[5]、柿田 明美[5]
[1]福島県立医科大学会津医療センター精神医学講座、[2]福島県立医科大学医学部神経精神医学講座、
[3]名古屋市立大学大学院医学研究科地域医療教育学、[4]医療法人さわらび会福祉村病院長寿医学研究所、
[5]新潟大学脳研究所病態神経科学部門病理学分野

一般演題（ポスター）2
統合失調症 2

1-P2-1 Ultra High Risk 者を対象とした精神病発症予測因子の検討：睡眠関連パラメータとサイトカインの計測

○北村 真吾[1]、盛本 翼[4]、岸本 直子[4]、田形 弘実[2]、根本 隆洋[2]、樋口 悠子[3]、大島 勇人[5]、加藤 隆郎[5]、三島 和夫[8]、石間 環[6]、橋本 謙二[6]、大西 隆[9]、松木 佑[7]、桂 雅宏[7]、富田 博秋[7]、内村 直尚[5]、鈴木 道雄[3]、水野 雅文[2]、岸本 年史[4]、住吉 太幹[1]、中込 和幸[1]
[1]国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、[2]東邦大学医療センター大森病院、[3]富山大学附属病院、
[4]奈良県立医科大学精神医療センター、[5]久留米大学病院精神神経科、[6]千葉大学社会精神保健教育研究センター、
[7]東北大学病院、[8]秋田大学医学部付属病院、[9]ヤンセンファーマ株式会社

1-P2-2 統合失調症多発罹患家系のエクソーム解析

○保谷 智史[1]、布川 綾子[1,2]、渡部 雄一郎[1]、金子 尚史[2]、村竹 辰之[3]、染矢 俊幸[1]
[1]新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、[2]医療法人恵生会南浜病院、[3]古町心療クリニック

1-P2-3 日本人における統合失調症患者・両親トリオ 32 家系の全エクソーム解析

○森川 亮、Arta Kurniawan Reza、保谷 智史、渡部 雄一郎、井桁 裕文、染矢 俊幸
新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野

1-P2-4 ＜演題取り下げ＞

1-P2-5 緊張型統合失調症の病相期間と治療

○長沼 英俊
雁の巣病院医療部

一般演題（ポスター）3
統合失調症 3

1-P3-1 治療抵抗性統合失調症に対するクロザピン単独療法からクロザピン＋電気けいれん療法併用への移行

○西村 淳、橋本 学、中原 辰雄、陣門 洋平、亀田 香奈子、松口 和憲、吉永 一郎、石津 良子、織部 直弥、森松 友佳子、久我 政利、岩永 英之、上野 雄文、橋本 喜次郎
独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター

1-P3-2 白血球低値を示すクロザピン投与患者に対するセファランチンの有効性に関する検討

○佐藤 優真[1,2]、菊池 結花[2]
[1]能代厚生医療センター、[2]秋田大学医学部付属病院

1-P3-3 EGUIDE プロジェクトによる退院時処方への効果～クロザピン治療と Quality Indicator との関係に着目して～

○橋本 亮太[1,6]、長谷川 尚美[1]、安田 由華[1,2]、山本 智也[3]、渡邊 衡一郎[4]、稲田 健[5]
[1]国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部、
[2]医療法人フォスター生きる・育む・輝くメンタルクリニック、[3]大阪大学医学部附属病院薬剤部、
[4]杏林大学医学部精神神経科学教室、[5]東京女子医科大学医学部精神医学講座、
[6]大阪大学大学院・医学系研究科精神医学教室

1-P3-4 統合失調症患者における抗精神病薬多剤併用と生活習慣病リスクとの関連

○須貝 拓朗[1]、鈴木 雄太郎[1]、山崎 學[2]、下田 和孝[3]、森 隆夫[2]、尾関 祐二[4]、松田 ひろし[2]、菅原 典夫[3]、古郡 規雄[3]、岡本 呉賦[2]、寒河江 豊昭[5]、染矢 俊幸[1]
[1]新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、[2]公益社団法人日本精神科病院協会、
[3]獨協医科大学精神神経医学講座、[4]滋賀医科大学精神医学講座、[5]山形県立米沢栄養大学

1-P3-5 統合失調症患者を対象とした抗精神病薬の再入院リスク：医療情報データベースを用いたコホート研究

○嶽北 佳輝[1]、井上 幸恵[2]、馬場 健次[3]、野坂 忠史[3]
[1]関西医科大学精神神経科、[2]クレコンメディカルアセスメント株式会社、
[3]大日本住友製薬株式会社メディカルアフェアーズ部

一般演題（ポスター）4
気分障害 1

1-P4-1 リチウム中毒の要因による治療予後の比較検討

村川 徹[1]、○祖川 倫太郎[2]、飛田 修康[2]、木村 早希子[2]、田﨑 正信[2]、阪本 雄一郎[3]、入江 裕之[4]、門司 晃[1]
[1]佐賀大学医学部精神医学講座、[2]佐賀大学医学部附属病院薬剤部、[3]佐賀大学医学部救急医学講座、
[4]佐賀大学医学部放射線医学講座

1-P4-2 抑うつエピソードを伴う双極 I 型障害患者を対象としたルラシドンの第 3 相試験の日本人データの解析

○加藤 忠史[1]、石郷岡 純[2]、宮島 真理[3]、渡部 恵[3]、増田 孝裕[3]、樋口 輝彦[4,5]
[1]順天堂大学医学部附属病院精神医学教室、[2]CNS薬理研究所、[3]大日本住友製薬株式会社、[4]日本うつ病センター、
[5]国立精神・神経医療研究センター

1-P4-3 **男性うつ病患者における血清 estradiol 値と重症度との関連**

○常山 暢人[1]、鈴木 雄太郎[1,2]、有波 浩[1]、田尻 美寿々[1]、染矢 俊幸[1]
[1]新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、[2]医療法人敬愛会末広橋病院

1-P4-4 **うつ病治療反応性と血清 IGF-1 値との関連**

○有波 浩[1]、鈴木 雄太郎[1,2]、田尻 美寿々[1]、常山 暢人[1]、染矢 俊幸[1]
[1]新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野、[2]医療法人敬愛会末広橋病院

1-P4-5 **＜演題取り下げ＞**

一般演題（ポスター）5
疫学 1・その他

1-P5-1 **escitalopram が著効した皮膚むしり症の 1 例**

○林 真紀[1]、土岐 茂[2]、小山田 孝裕[1]
[1]特定医療法人大慈会三原病院、[2]医療法人あさだ会第2心療クリニックコモリエ

1-P5-2 **精神科外来における便秘症に関する研究**

○山田 浩樹[1]、大野 泰裕[1]、石井 弘毅[1,2]、石川 文徳[2]、佐藤 諒太郎[2]、中村 善文[2]、鎌田 行識[1]、
戸坂 由香里[1]、富岡 大[1]、高塩 理[2]、野崎 伸次[1]、稲本 淳子[1]、岩波 明[1]
[1]昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター、[2]昭和大学附属烏山病院

1-P5-3 **ブロナンセリン経皮吸収型製剤の発汗を伴う運動条件下における耐用性**

○萩野谷 真人
医療法人圭愛会日立梅ヶ丘病院精神神経科

1-P5-4 **精神神経疾患と 25 ヒドロキシビタミン D との関連に関する後向き観察研究**

○松島 淳、門司 晃
佐賀大学医学部附属病院精神神経科

1-P5-5 **低 Na 血症の原因として、鉱質コルチコイド反応性低 Na 血症（MRHE）の診断で加療。良い転帰を得た高齢女性の 1 例**

○石井 寛邦、王丸 輝夫、内村 直尚
久留米大学病院精神神経科

一般演題（ポスター）6
認知症 1

1-P6-1 **MCI および軽度アルツハイマー型認知症における認知機能障害の特徴〜包括的テストバッテリーを用いた検討**

○姚 璐、青山 慎介、大内 淳、曽良 一郎
神戸大学医学部付属病院

1-P6-2 **＜演題取り下げ＞**

1-P6-3 **認知症におけるベントン視覚記銘検査と脳血流の相関解析**

○河内 崇[1]、清水 敬二[2]、高橋 年道[1]、桑田 美子[1]、大谷 恭平[1]、宮井 宏之[1]、福島 春子[1]、
山本 泰司[1,3]、菅 剛[4]、石藏 礼一[4]、松石 邦隆[1]
[1]神戸市立医療センター中央市民病院精神・神経科、[2]神戸市立医療センター中央市民病院放射線技術部、
[3]国立大学法人神戸大学保健管理センター、[4]神戸市立医療センター中央市民病院放射線診断科

1-P6-4 **入院中の認知症患者における薬物療法の状況調査**

○中井 文香[1,2]、富岡 大[1,2,3]、小金丸 泰史[1,2]、白井 將博[1,2]、太田 佐保子[1,2]、近江 真季[1,2]、鎌田 行識[1,2]、青木 祐香里[1,2]、戸坂 由香里[1,2]、米良 健輔[1,2]、大山 芳子[1,2]、杉田 秀太郎[1,2]、沖野 和麿[1,2]、種田 百合子[2]、嘉部 匡朗[4]、大野 実里[4]、島田 ひかる[5]、佐藤 啓[5]、佐藤 裕一[2]、岩波 明[1]、稲本 淳子[1,2]
[1]昭和大学医学部精神医学講座、[2]昭和大学横浜市北部病院メンタルケアセンター、[3]昭和大学藤が丘病院精神神経科、[4]昭和大学横浜市北部病院リハビリテーション室、[5]昭和大学横浜市北部病院看護部

1-P6-5 **認知症補助診断としての日本語版ポケット嗅覚識別テスト（UPSIT-J）の有用性の検討 その３**

○小路 純央[1,2]、森田 喜一郎[1,3]、柳本 寛子[2]、山下 裕之[1,2]、加藤 雄輔[1,2]、吉本 幸治[1,2]、佐藤 守[1,2]、内村 直尚[1,2]
[1]久留米大学高次脳疾患研究所、[2]久留米大学病院精神神経科、[3]特定医療法人社団相和会中村病院

一般演題（ポスター）7
認知症２

1-P7-1 **レビー小体型認知症に対し、少量のブレクスピプラゾールが奏功した１例**

○加藤 真二郎、伊藤 偉織、今村 洋史
医療法人有俊会いまむら病院

1-P7-2 **クエチアピン単剤化により精神症状と運動症状が改善したハンチントン病による認知症の１例**

○宮下 真子[1]、渡部 雄一郎[1]、本郷 祥子[2]、小池 直人[2]、佐治 越爾[2]、深石 翔[2]、三上 剛明[1]、小野寺 理[1]、染矢 俊幸[1]
[1]新潟大学医歯学総合病院精神科、[2]新潟大学医歯学総合病院脳神経内科

1-P7-3 **＜演題取り下げ＞**

1-P7-4 **リバスチグミンの投与後に Balint 症候群とともに脳血流の改善を認めた変性性認知症の一例**

○坂口 俊史[1]、宮川 雄介[1]、菅原 裕子[2]、田中 響[1]、石川 智久[1]、福原 竜治[1]、朴 秀賢[2]、竹林 実[1,2]
[1]熊本大学医学部附属病院神経精神科、[2]熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学講座

1-P7-5 **＜演題取り下げ＞**

一般演題（ポスター）8
脳器質性・症状性精神障害１

1-P8-1 **抗うつ薬治療中に非けいれん性てんかん発作重積状態および通過症候群としての軽躁を呈した 40 歳代男性の一例**

○長岡 大樹[1,2]、谷口 豪[1,3]、庄司 瑛武[1]、近藤 伸介[1]、笠井 清登[1]
[1]東京大学医学部附属病院精神神経科、[2]東京武蔵野病院、[3]国立精神神経研究センター

1-P8-2 **Parkinson's disease psychosis に伴うカタトニアに電気けいれん療法が有効であった２例**

○長尾 達憲、寒川 尚登、石川 亮、増田 慶一、板垣 圭、和田 健
広島市立広島市民病院精神科

1-P8-3 **単回の痙攣発作を呈した後、統合失調症様の精神症状から医療保護入院となった抗 NMDA 受容体脳炎の１例**

○岩倉 容子[1]、山下 博栄[1]、藤田 和樹[2]、島津 智一[2]、北村 英二[3]、飯塚 高浩[3]、西山 和利[3]、丸木 努[1]、丸木 雄一[2]
[1]社会福祉法人シナプス埼玉精神神経センター精神科、[2]社会福祉法人シナプス埼玉精神神経センター脳神経内科、[3]北里大学医学部脳神経内科学

1-P8-4 ＜演題取り下げ＞

1-P8-5 抗 HIV 療法開始後に急激に増悪した HIV 関連神経認知障害(HAND)に対してバルプロ酸ナトリウムが奏功した一例

○山崎 千佳、西村 康平、森脇 久視、茨木 丈博
神奈川県立精神医療センター精神科

一般演題（ポスター）9
脳器質性・症状性精神障害 2

1-P9-1 精神症状を伴った抗自律神経節アセチルコリン受容体抗体脳症の 1 例

○樋口 悠子[1]、林 智宏[2]、高橋 努[1]、鈴木 道雄[1]
[1]富山大学学術研究部医学系神経精神医学講座、[2]富山大学附属病院脳神経内科

1-P9-2 マダニ刺傷による重症熱性血小板減少症候群の経過中に、多彩な神経症状を呈し認知機能低下が残存した 1 例

○有馬 和志[1]、石王 覚[1]、室津 和男[1]、兼子 幸一[2]
[1]松江赤十字病院精神神経科、[2]鳥取大学医学部脳神経医科学講座精神行動医学分野

1-P9-3 ＜演題取り下げ＞

1-P9-4 同一家系における同一遺伝子変異により生じた驚愕病の検討

○林田 麻衣子[1]、松田 泰行[1]、長濱 道治[1]、橋岡 禎征[1]、和氣 玲[1]、宮岡 剛[2]、稲垣 正俊[1]、竹谷 健[3]
[1]島根大学医学部精神医学講座、[2]医療法人青葉会松江青葉病院、[3]島根大学医学部附属病院

一般演題（ポスター）10
脳器質性症状性精神障害 3

1-P10-1 SLE 精神病に対して blonanserin 貼付剤を使用した一例

○関谷 竜彦、橋本 祐希、高久 奈津美、高野 学、岡田 岡田、小林 聡幸、須田 史朗
自治医科大学附属病院

1-P10-2 統合失調症の治療経過中に器質性緊張病性障害を来たした一例

○赤間 孝洋、三浦 至、後藤 大介、泉 竜太、木村 聡、森 湧平、落合 晴香、矢部 博興
福島県立医科大学医学部神経精神医学講座

1-P10-3 脊髄小脳変性症に罹患し 10 年後に精神病症状を呈した一例

○岩田 遼、稲川 拓磨、野田 隆政、池澤 聰、佐竹 直子、宇佐美 貴士、河野 正晴、日吉 史一、
榎田 嵩子、廣瀬 正義、庄司 昴、中込 和幸
国立精神神経医療研究センター病院第一精神診療部

1-P10-4 不随意発声に SSRI が著効した前頭側頭型認知症の 1 例

○須藤 真紀、白木 乃江瑠、高橋 卓巳、新井 哲明
筑波大学精神神経科

1-P10-5 両肺生体移植後に幻覚妄想が遷延した一例

○酒井 慎太郎、岩永 健、松坂 雄亮、中野 健、木下 裕久、今村 明、小澤 寛樹
長崎大学病院精神科神経科

一般演題（ポスター）11
児童・思春期・発達障害 1・その他

1-P11-1 **東日本大震災に被災した高校生における心理的苦痛と生活習慣要因の関連性**

○奥山 純子[1,2]、舩越 俊一[3]、小野部 純[4]、出江 紳一[1]
[1]東北大学病院、[2]指定国立大災害科学世界トップレベル研究拠点、[3]宮城県立精神医療センター、
[4]東北文化学園大学医療福祉学部

1-P11-2 **自閉スペクトラム症を持つ子どもの親のストレスに与える要因の検討**

○森本 佳奈[1]、ポーター 倫子[2,3]、ラブランド キャサリン[3]
[1]京都市児童福祉センター児童精神科、[2]ワシントン州立大学人間発達学科、
[3]テキサス医科大学精神発達と行動科学学科

1-P11-3 **精神病罹病危険状態（At Risk Mental State：ARMS）における酸化ストレス状態の把握と客観的指標の開発**

○和氣 玲[1,2]、荒木 智子[1]、福島 美千代[4]、松田 泰行[1]、稲垣 卓司[3]、林田 麻衣子[1]、橋岡 禎征[1]、
堀口 淳[4]、宮岡 剛[1,5]、大西 新[4,6]、稲垣 正俊[1]
[1]島根大学医学部精神医学講座、[2]島根大学人間科学部、[3]島根大学教育学部学校教育課程初等教育開発講座、
[4]島根大学医学部免疫精神神経学共同研究講座、[5]医療法人青葉会松江青葉病院、[6]株式会社RESVO

1-P11-4 **性同一性障害の思春期症例での性ホルモン療法について～ガイドラインの治療要件の妥当性は？**

○森 昭憲
富山県リハビリテーション病院・こども支援センター児童精神科

1-P11-5 **令和元年台風 15 号、19 号災害への茨城 DPAT 支援活動 –支援・受援ジレンマ**

○太刀川 弘和[1,4]、高橋 晶[1,4]、根本 清貴[2]、田口 高也[1,4]、佐々木 恵美[3]、堀 孝文[4]、新井 哲明[2]
[1]筑波大学医学医療系臨床医学域災害・地域精神医学、[2]筑波大学医学医療系臨床医学域精神医学、
[3]茨城県精神保健福祉センター、[4]茨城県立こころの医療センター

一般演題（ポスター）12
児童・思春期・発達障害 2

1-P12-1 **＜演題取り下げ＞**

1-P12-2 **公立単科精神病院で児童青年精神科ユニットの開棟にむけて、考え方と目標と準備と工程の検討**

○幸田 有史、石川 千明、山下 俊幸
京都府立洛南病院精神科

1-P12-3 **アトモキセチンが著効した選択性緘黙を呈する思春期 ADHD の一例**

○林 大祐、平林 直次
国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

1-P12-4 **自閉スペクトラム症に統合失調症が併発した思春期の 1 例**

○細川 里瑛[1,2]、河邉 憲太郎[1,2]、髙山 由華子[1]、舟橋 裕[1]、久門 啓志[1]、尾崎 優樹[1]、清水 秀明[1]、
上野 修一[1]
[1]愛媛大学医学部付属病院精神科、[2]愛媛大学医学部附属病院子どものこころセンター

1-P12-5 **非定型的な症状を呈したトラウマ治療症例のケースシリーズ**

○杉本 篤言[1,2]、吉永 清宏[2]、林 剛丞[2]、江川 純[3]、細木 俊宏[2]、染矢 俊幸[3]
[1]新潟大学大学院医歯学総合研究科地域精神医療学寄附講座、[2]新潟県立精神医療センター精神科、
[3]新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野

一般演題（ポスター）13
薬物療法 1

1-P13-1 ＜演題取り下げ＞

1-P13-2 **ラモトリギンに関連した汎血球減少を伴う薬疹型偽リンパ腫を呈した双極 II 型障害の 1 例**

○深石 翔、横山 裕一、三上 剛明、渡部 雄一郎、染矢 俊幸
新潟大学医歯学総合病院

1-P13-3 **ブレクスピプラゾールが著効した双極 II 型障害の 7 例**

○四宮 雅博、四宮 滋子、鈴木 聡彦
医療法人社団順真会しのみやクリニック

1-P13-4 **オランザピン投与が脳波の徐波化を伴う意識障害を遷延させたベンゾジアゼピン離脱せん妄の 1 例**

○東 隼也[1]、髙橋 隼[1]、奥平 和也[1]、小瀬 朝海[2]、辻 富基美[1]、鵜飼 聡[1]
[1]和歌山県立医科大学神経精神医学教室、[2]和歌山県立こころの医療センター

1-P13-5 **千葉県精神科医療センターにおける刺激性下剤削減に対する取り組み**

○河岸 嶺将、花岡 晋平、大越 友美、成宮 雪子、中田 正浩、西郷 弘子、竹中 敦子、
菊池 夏希、西田 幸子、深見 悟郎
千葉県精神科医療センター精神科

一般演題（ポスター）14
薬物療法 2

1-P14-1 **併存疾患を有する児童・青年期 ADHD 患者に対する薬物療法の有効性と安全性：システマティックレビュー**

○納谷 憲幸[1]、辻 敏永[1]、三嶋 宏和[1]、木口 亮[2]、藤原 正和[2]、飯田 順三[3]
[1]塩野義製薬株式会社メディカルアフェアーズ部、[2]塩野義製薬株式会社解析センター、
[3]奈良県立医科大学医学部看護学科

1-P14-2 **成人 ADHD 患者の病型別に対するグアンファシンの有効性と安全性：第三相プラセボ対照試験の事後解析**

○酒井 千賀[1]、納谷 憲幸[1]、辻 敏永[1]、奥津 大樹[2]、木口 亮[3]、藤原 正和[3]、岩波 明[4]
[1]塩野義製薬株式会社メディカルアフェアーズ部、[2]塩野義製薬株式会社臨床開発部、
[3]塩野義製薬株式会社解析センター、[4]昭和大学医学部精神医学講座

1-P14-3 **統合失調症治療における brexpiprazole への切り換えの有用性の検討**

○一瀬 瑞絵[1,2]、三浦 至[2]、鈴木 二妙香[2]、後藤 將之[2]、浅野 太志[2]、山本 慎之助[2,5]、伊藤 雅史[2,4]、
堀越 翔[3]、金子 春香[1,2]、山本 ちひろ[6]、渡辺 研弥[6]、野崎 啓子[2]、矢部 博興[2]
[1]公益財団法人星総合病院星ヶ丘病院、[2]福島県立医科大学医学部神経精神医学講座、
[3]医療法人ほりこし心身クリニック、[4]福島県立矢吹病院、[5]福島赤十字病院、[6]福島県立医科大学附属病院薬剤部

1-P14-4 **急性期統合失調症における brexpiprazole の有効性についての検討**

○山本 慎之助[1,3]、三浦 至[2]、浅野 太志[2]、一瀬 瑞絵[3]、堀越 翔[2]、金子 春香[3]、伊藤 雅史[4]、
渡辺 研弥[2]、山本 ちひろ[2]、野崎 啓子[2]、矢部 博興[2]
[1]福島赤十字病院、[2]福島県立医科大学医学部神経精神医学講座、[3]公益財団法人星総合病院星ヶ丘病院、
[4]福島県立矢吹病院

1-P14-5 **双極性障害患者に対する抗うつ薬の処方実態と患者プロフィール**

○徳満 敬大[1]、古郡 規雄[1]、吉村 玲児[2]、加藤 正樹[3]、中川 敦夫[4]、菊地 俊暁[4,5]、坪井 貴嗣[5]、
足立 直人[6]、窪田 幸久[6]、阿瀬川 孝治[6]、上田 均[6]、枝川 浩二[6]、勝元 榮一[6]、後藤 英一郎[6]、
本郷 誠司[6]、下田 和孝[1]、渡邊 衡一郎[5]
[1]獨協医科大学病院、[2]産業医科大学病院、[3]関西医科大学附属病院、[4]慶應義塾大学病院、[5]杏林大学医学部付属病院、
[6]日本精神神経科診療所協会

一般演題（ポスター）15
神経画像

1-P15-1 Multi-atlas segmentation を用いた自動解析（T-Proto）と FreeSurfer の海馬体積測定における方法間信頼性検証

○山﨑 龍一、小高 文聰、内海 智博、舞草 伯秀、繁田 雅弘
東京慈恵会医科大学精神医学講座

1-P15-2 深層学習を使った精神疾患脳構造画像の特徴量抽出

○山口 博行[1,2]、橋本 侑樹[1]、杉原 玄一[3]、宮田 淳[4]、村井 俊哉[4]、高橋 英彦[3]、本田 学[1]、山下 祐一[1]
[1]国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第七部、[2]横浜市立大学医学部精神医学教室、
[3]東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科精神行動医科学、[4]京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座

1-P15-3 軽度認知障害から認知症への移行におけるうつ病とアミロイドベータの関連

○山本 憲、坂寄 健、荒川 亮介、舘野 周、大久保 善朗
日本医科大学付属病院精神神経科

1-P15-4 地域在住の高齢者における来世信念と脳形態画像解析結果の関連

○今村 義臣[1,2]、溝口 義人[1]、門司 晃[1]
[1]佐賀大学医学部精神医学講座、[2]久留米大学比較文化研究所

1-P15-5 大脳白質の軸索の髄鞘化、大脳白質の成熟と、認知機能・社会機能の指標である労働時間との関連

○松本 純弥[1]、福永 雅喜[2]、根本 清貴[3]、越山 太輔[4]、三浦 健一郎[1]、岡田 直大[4,5]、森田 健太郎[4,6]、山森 英長[1,7,9]、安田 由華[1,8]、藤本 美智子[1,9]、工藤 紀子[1]、笠井 清登[4,5]、渡邉 嘉之[10]、橋本 亮太[1,9]
[1]国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神疾患病態研究部、[2]生理学研究所心理生理学研究部門、
[3]筑波大学人間総合科学研究科医学医療系精神医学、[4]東京大学大学院医学系研究科精神医学、
[5]東京大学国際高等研究所ニューロインテリジェンス国際研究機構、
[6]東京大学医学部附属病院リハビリテーション部、[7]独立行政法人地域医療機能推進機構大阪病院、
[8]医療法人フォスター生きる・育む・輝くメンタルクリニック、[9]大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室、
[10]大阪大学大学院医学系研究科放射線医学教室